



あこう通信

「今日も楽しかった。明日も楽しみ。」と思える学校を創ろう

～いい顔 いい声 いい心～



発行：令和7年10月29日（水）NO.22 文責：副校長 津田 幸一

<http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

俳句の授業（10/9）



夏井カンパニーの家藤正人さんを招聘して、4年生以上を対象に俳句ゲームを実施しました。1人1句をつくって、俳句の世界を楽しみました。

出前授業（9/30：特活 10/9：国語）

9/30 ともみらい図書館長の加藤先生を招聘し、4の2で特別活動の授業。

10/9 筑波大学附属小の溝越先生を招聘し 6-1 国語科授業。

市内小学校からの参観も多くある中で、子供たちの輝く姿を披露できました。



小体会（10/13）



今年度から種目変更をの新しい大会となっています。練習の成果を発揮するとともに、他校選手との親睦を深めました。

<11月行事>

3日（月）	文化の日
4日（火）	11/8土曜授業代休日
5日（水）	全校集会
6日（木）	委員会活動
8日（土）	土曜授業・小櫛祭
12日（水）	アウトメディア週間（～18日） 6年生ブラッシング指導
13日（木）	全校13：40下校 4年生小音会 全児童：要弁当
19日（水）	児童集会 2年生親子レク
20日（木）	クラブ活動
21日（金）	3・4年生5校間授業
23日（日）	勤労感謝の日 稲佐山クリーン作戦
24日（月）	振替休日
26日（水）	3年生社会科見学※3年生弁当
27日（木）	委員会活動

つづけること

2年 ○○○○

「ま、今日ぐらいいいわ。」と、かるい気持ち。
「なんとかなるわ。」と、また1日さぼって、
（ダメだなあ。）と、思いながらまたサボリ。
おさぼりのかけらがあつまって、大きな、大きなジグソーパズルが心の中で、できあがっていく。
でも、あと1まいというところで、パズルは完成しないんだ。
だって・・・。
「ちゃんとがんばっていた私はどこ？」と、はんせいするひとかけらと、「どうせこんなの明日したらいいの！」というひとかけらが、場所の取り合いをして、どっちが本物？どっちが私？と、ギューギュー、けんかして、やっぱりがんばりやさんが勝ったから。
楽をつみ重ねることは心の中は楽じゃない。
いつも落ちつかない。
こつこつしんどのをつみ重ねることは、つらいけれど、心は晴れ晴れしているのはなぜかな？
「つづける」ことは、かんたんそうで、すごくむずかしい。
時間があるし、力があるし、ゆう気もある。
だけど、つづけていたら、あとで百ばいうれしいことが返ってくる気がするよ。

（朝日読書感想文コンクール入選作）

『自分の中を見る目、聞く耳・・・』

人の目は前についています。自分以外のものが見えやすいようにについています。耳も、外の音や声を聞きやすいように、外に開いています。鼻も口も手もそうです。

自分の中は見えにくい目、自分の中の声は聞こえにくい耳、自分のにおいはわからない鼻、自分の味はわからない口・・・。

外のことばかりに関心が向くようにできているのが人間です。

だからこそ、自分自身をじっと見つめることは難しいのです。これに努めようという、心のありようが肝なのです。

さて、この作文を書いた子は、その大変難しい「自己凝視」ということを立派にやっています。「なんとかなるわ」という、軽い怠け・さぼり心の一片と、それではいけないという反省する心の一片の戦いを、客観的に見つめながら、「私って本当はどっちなのだろう」と問いかけています。

「続ける」ことの大変さを実感しながら、しかし、やっぱり自分の中の「がんばりやさん」と手を結んでいます。立派です！